

代表・一般質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

を確保していくため、今後、速やかに片内跡地活用検討委員会を立ち上げ、利活用案を策定、地元協議会等に諮り、計画づくりを行っていく。

不登校支援特別校の必要性は

【問】不登校支援のための特別校について、どのような検討状況なのか。本人の問題に起因するケースの割合が高くなっているという最近の不登校の原因変化に対応できるのが不登校支援の特別校ではないか。

【教育長】特別校設立には廃校となった施設の利用が最も効果的だが、設置候補地選定や地元説明等を考えると、早くても平成35年度以降となること、また、

震災水害避難の明確化と花畑川・中川の整備について

自由民主党 伊藤 のぶゆき 議員

避難所指定を明確に分けよ

【問】現在の第一次避難所の指定は、当初はあくまでも震災を対象に指定されたと聞いている。予想を超える豪雨や大型台風が頻繁に起きている昨今、震災時と水害時の避難所指定を明確に分け、各河川、各地域ごとに避難マニュアルを確立すべきと考えるがどうか。

【危機管理】水害は氾濫する河川によって状況が異なるため、

震災とは分けて、各河川のハザードマップ等を踏まえて地域ごとの水害対策を検討し避難所を選定する等、マニュアル化しておく必要がある。あわせてコミュニティタイムラインや地区防災計画の策定を推進していく。

区外からの入学者の経費を区負担にする懸念や、反対に入学を断ることが現実的に可能なかの選択肢が増える点において必要であると認識しており、特別校設立の検討と合わせて、当面実現可能な不登校対策の拡充を図り、登校できない児童・生徒の学習環境の確保に努めていく。



ドローンのブランドの確立を

【問】現状ではドローンの飛行練習を行う場所が圧倒的に不足している。廃校の体育館等をドローンの練習場所として開放し、23区で初めてのドローンパイロット職員を育成し、足立区ドローンのブランドを確立すべきと考えるがどうか。



【政策経営】ドローン練習場所の開放は、屋内での利用、廃校

でのドローン実証実験や活動の場としての提供を検討していく。ドローンの飛行は、まずは専門事業者への委託を優先に進め、パイロット職員育成は、その後の検討課題とさせていただきます。

花畑川の早急な環境整備を

【問】花畑川と並行して走る都施工の補助第261号線の整備は、用地補償の説明会が開催され1年が経過した。花畑川整備のタ

足立区議会公明党

区民のための区政運営を！

公明党 いさぐら 昭一 議員



職員一丸となった区政運営を

【問】地質年代に日本の名前が初めて刻まれることが確実になった。リーダーとしての区長の感想と来年への決意を伺う。

【区長】研究チームが綿密なデ

ータを揃え、一丸となって展開した賜物であると大いに評価している。区も様々な重要データを横断的につなげ、全庁的な視野に立った戦略展開が、来年度以降非常に重要だと考えている。

【財政の見える化】の推進を

【問】完成した中期財政計画を見ると、積算額から事業ごとに2〜8%減額した計画となっている。事業コスト縮減が区民生活に大きな影響を及ぼさないよう検討していくべきかどうか。

【政策経営】平成27年度以前の

4年間の決算での執行率等を考慮した数値としているため、影響を最小のものとしながら実施

ネットワークとの整合性を図るため、早急に都と協議し、平成33年度内の全路線の完成に向けて進めるべきと考えるが、現在の用地取得の進捗率と区の見解は。

【都市建設】用地取得の進捗率

は、平成29年4月1日現在、約2%となっている。平成33年度内の完成は極めて難しい状況と思われる。区としては早期完成が必要な路線と考えており、都に要望していく。

【危機管理】今回見えた課題や

解決策立案の裏づけになるため、実施に向けて検討していく。

不幸な猫をなくす活動の推進を

【問】猫の殺処分ゼロを推進するためには、まず猫を捨てさせないことである。今後、殺処分ゼロを目指してどのように取り組むのか見解を伺う。

【衛生】現在「飼い主のいない

猫」を増やさない取り組みとして、不妊去勢手術費助成事業等を実施している。今後はさらに、譲渡会開催の支援等、区内団体の活動支援策を検討していく。

【問】①この度の衆議院選挙では、

時間帯によって1時間以上も長蛇の列ができた。早急に投票環境を改善すべきかどうか。②昨年、我が党は東京電機大学構内への投票所設置を提案し、同大学から活用は難しいと回答があったと聞いている。再度、活用を強く申し入れてはどうか。

【総務】①特に混雑が激しかった

シアター1010等を中心にしたシニア向け分散が図れるよう投票所増設を検討していく。②東京電機大学への再依頼、民

間施設やシアター1010のアトリエ以外の活用に加え、施設に合わせ、現状より短い期間でも開設する等、少しでも実現可能性が高まるよう考えていく。

【問】今回の防災行政無線は聞き取り

が多かった。風雨の激しいときの聞き取り状況等、中川や新芝川流域の区民にアンケート調査をしてはどうか。

【危機管理】今回見えた課題や

解決策立案の裏づけになるため、実施に向けて検討していく。

不幸な猫をなくす活動の推進を

【問】猫の殺処分ゼロを推進するためには、まず猫を捨てさせないことである。今後、殺処分ゼロを目指してどのように取り組むのか見解を伺う。

【衛生】現在「飼い主のいない

猫」を増やさない取り組みとして、不妊去勢手術費助成事業等を実施している。今後はさらに、譲渡会開催の支援等、区内団体の活動支援策を検討していく。

【問】①要精密検査の受診勧奨

や結果の追跡調査について、今後の取り組みを伺う。②がん教育は、教材活用も十分とは言えない現状がある。さらなる取り組みが必要かどうか。また、がん経験者の出前授業



等を通し、いのちの大切さを学ぶ機会も設けるべきかどうか。【衛生】①胃がんについては、精密検査未受診者に対し、受診状況調査及び受診勧奨を実施している。受診勧奨により、受診率向上が見込まれるため、今後のがん検診にも広げていく。

【問】①区中南部一地区不燃

化特区区域内で老朽建築物解体費用の助成条件の緩和が不燃領域率向上に有効だが見解を伺う。②北千住駅東口周辺再開発は、真に地域住民に必要なもので、区全体の公益にも寄与できるものでなければならぬ。また、地域資源をも活用するエリアデザインという視点も取り入れて進めるべきかどうか。

【市街地】①まちの燃えにくさを

示す指標である不燃領域率は平成28年度末で59.1%であり、さらなる不燃化建替え等促進の必要がある。条件緩和は、不燃領域率上昇につながる有効な手法であり、今後検討を進めていく。②再開発事業は、地域や区にとっても公益性のある機能や施設

等が必要であると認識している。